

第四回 IT マネジメント研究会 初心者編（大阪）議事録	
日時:	2011/05/25(水) 14:00～17:00
会場:	大阪丸紅ビル B1F A 会議室
テーマ:	災害に強い情報システムの要件
講師:	クオリティソフト株式会社 取締役 ビジネス企画本部 本部長 平居 透 氏
司会・進行:	IT マネジメント研究会 初心者編 座長 帝塚山大学 経営情報学部 教授 博士(国際公共政策) 公認システム監査人 高瀬 宜士 氏 IT マネジメント研究会 初心者編 副座長 ナカバヤシ株式会社 管理本部 情報システムマネージャー 田村 茂之 氏
※当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。	
◆第一部:講演 テーマ:災害に強い情報システムの要件 <この度の震災とBCP> ・ BCP とは、企業が災害、火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合に、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能にするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと ・ 情報システムのバックアップや冗長化は BCM(演習)できる仕掛けが重要 <サーバのバックアップの冗長化について> ・ バックアップはデータだけでなく、イメージ全体(OS やアプリ含む)が必要 ・ 日次のバックアップに加えて、障害時に直前状態に戻せるバックアップが必要 ・ BCM で求めているのは訓練による見直しです。これができるシステム構成が必要 ・ バックアップ先は 1 拠点ではなく複数拠点へ <クライアントの冗長化について> ・ 自宅やサテライトオフィスからの個人業務が継続できれば理想の IT 環境となる <ドキュメントの冗長化について> ・ 法令によって保管が義務付けられている文書がある ・ e-文書化は簡単にできることがたくさんある ◆第二部:ディスカッション Q: 阪神大震災の際にはケーブルの配線に関するドキュメントがなく、結局張りなおすことになってしまった。 A: 配線についてもドキュメント化し、さらに別の場所へ保管すべき。	

- ・ 今後は全国の複数拠点を活かしたバックアップ体制を取りたい。
- ・ クライアントのバックアップまでは考慮していなかったので、今後検討したい。
- ・ 実際に火災が起きた際、「磁気媒体保管庫」に入れていたテープは無事だった。耐火金庫では不十分。
- ・ 紙のバックアップは盲点であったので、検討したい。
- ・ キャリアの局舎がつぶれてしまうケースも考えておく必要がある。衛星回線も検討している。
- ・ データセンターを利用する場合も複数に配置するべき。